

常呂川の治水事業

平成以降の主な洪水について

平成4年9月洪水

◆ 台風17号に伴う降雨による洪水により、常呂川下流域では農地冠水、床上浸水、堤防の基盤漏水が発生したが、これまでの河川改修等により、常呂市街地への被害を抑制した。

平成4年9月10～12日洪水
(台風17号・前線)の概要

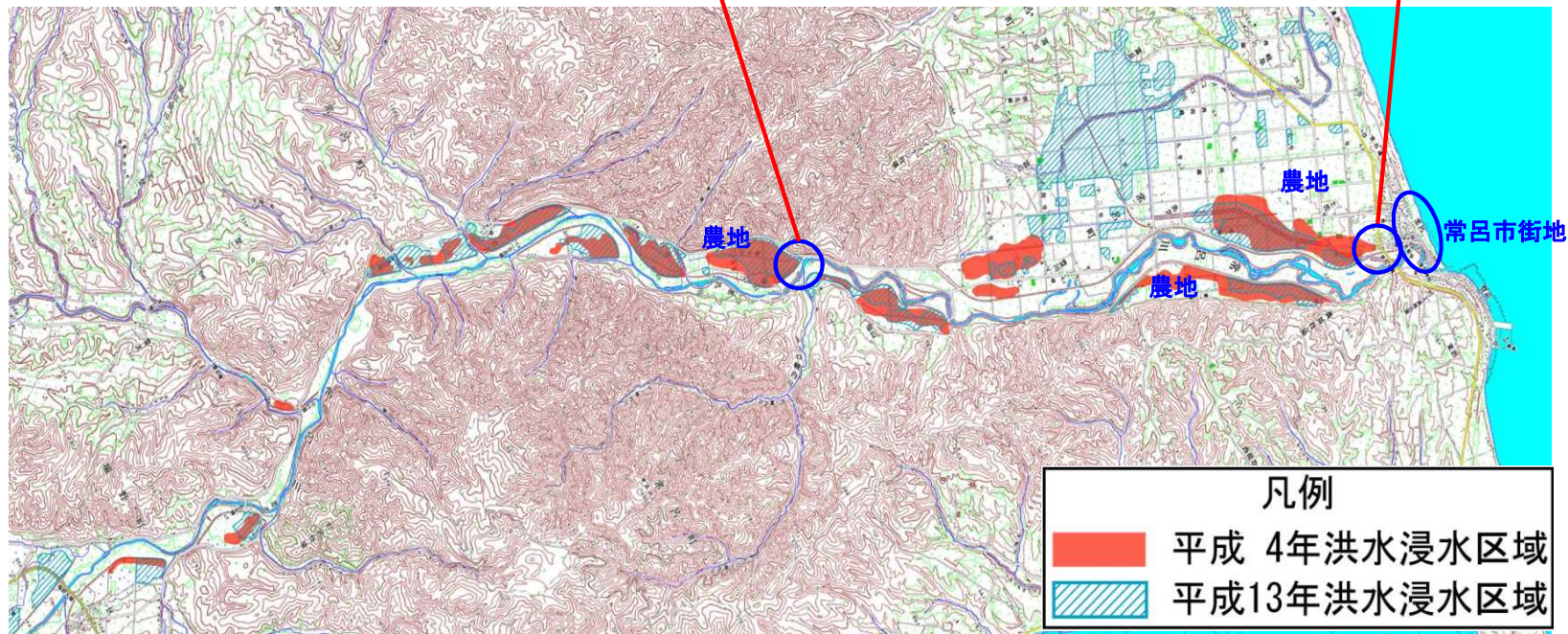
降雨量 : 北見 126mm
被害状況 : 床上浸水 26戸
氾濫面積 690ha



北見市 福山地区 内水による農地の冠水



北見市 常呂地区基盤漏水への対応



洪水被害 浸水実績図

平成13年9月洪水

- ◆ 台風15号の大雨により、常呂川下流域では内水によって農地が広く冠水したが、これまでの河川改修等により、常呂市街地への被害を抑制した。



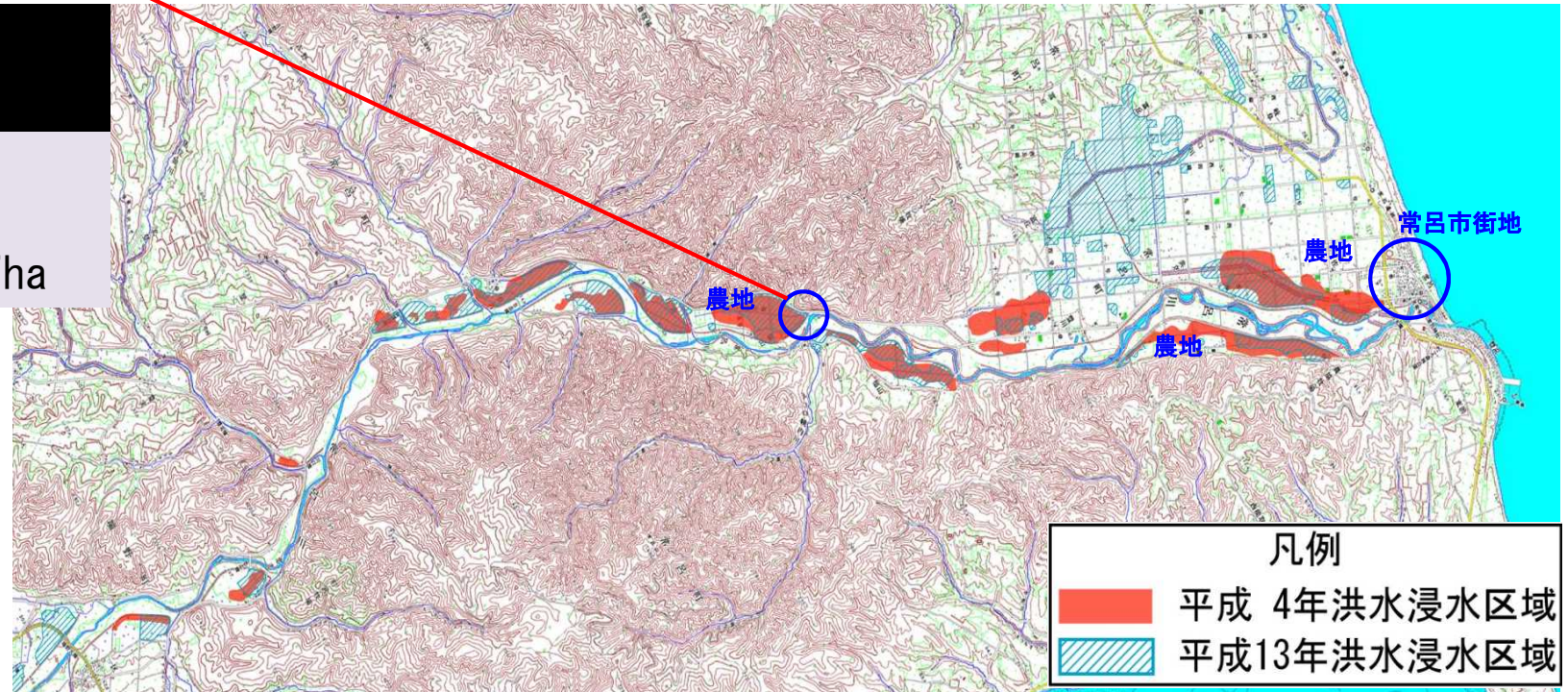
北見市 福山地区



洪水の流下状況

平成13年9月10～12日洪水 (台風15号・前線)の概要

降雨量：北見 195mm
被害状況：被害家屋 2戸
氾濫面積 1,037ha



洪水被害 浸水実績図

平成28年8月北海道豪雨災害

- ◆ 史上初となる1週間で3つの台風が連続で上陸し、その影響に伴う降雨により、常呂川では、上川沿水位観測所で既往最高水位を更新し、下流の日吉・福山地区では堤防越水が発生し、支川柴山沢川と東亜川では堤防越水食による破堤が発生。また、堤防法尻等から噴砂も多数発生。洪水によって、周辺農地では、出荷前の農作物などが甚大な被害を受けた。



過去の災害実績

○近年は度々洪水被害が発生しており、特に平成28年8月洪水では甚大な被害が発生しています。

主要洪水一覧

洪水名	気象要因	流域平均 一雨雨量 北見地点(mm)	北見地点 流量 (m ³ /s)	被害状況
大正8年9月	台風	186.1	不明(記録なし)	被害家屋 637戸、氾濫面積 不明
大正11年 8月	台風	182.1	1,610(推定)	被害家屋 1,093戸、氾濫面積 2,160ha
昭和37年 8月	前線・台風	86.0	不明	被害家屋 76戸、氾濫面積 3,151ha
昭和46年10月	低気圧	60.6	261	被害家屋 24戸、氾濫面積 411ha
昭和47年 9月	台風	102.5	198	被害家屋 4戸、氾濫面積 不明
昭和50年 8月	台風	153.2	661	被害家屋 349戸、氾濫面積 494ha
昭和50年 9月	低気圧・前線	70.9	508	被害家屋 1,060戸、氾濫面積 1,111ha
昭和54年10月	台風	101.6	586	被害家屋 277戸、氾濫面積 59.2ha
昭和56年8月上旬	台風	113.3	390	被害家屋 0戸、氾濫面積 2,071ha
昭和56年8月下旬	台風	43.7	150	被害家屋 8戸、氾濫面積 1,070ha
平成4年 8月	台風	88.8	364	被害家屋 6戸、氾濫面積 352ha
平成4年 9月	台風	99.0	671	被害家屋 26戸、氾濫面積 690ha
平成10年 8月	前線	126.0	635	被害家屋 7戸、氾濫面積 687ha
平成10年 9月	台風	101.4	898	被害家屋 8戸、氾濫面積 480ha
平成13年 9月	台風	175.1	932	被害家屋 2戸、氾濫面積 1,037ha
平成18年 8月※	前線	175.5	1,030	被害家屋 27戸、氾濫面積 0.3ha
平成18年10月	低気圧	152.8	685	被害家屋 24戸、氾濫面積 137ha
平成28年8月	前線・台風	331.0	1,667	被害家屋 65戸、氾濫面積 307ha

注1) 被害状況は「市町史」(大正8年、大正11年)、「洪水報告書」(平成10年8月)、
「北海道開発局 網走開発建設部 速報(第1報)」(平成10年9月)、「水害統計」及び「北海道災害記録」による。
注2) 北見地点流量については、「水文水質データベース」のデータによる。
注3) 北海道災害記録による被害等は集計上、支川、内水被害を含む。北見市の被害は流域外も含む。
注4) 平成28年8月の雨量については3つの台風(台風第7号、第11号、第9号)の総雨量。

※現行河川整備計画の対象洪水

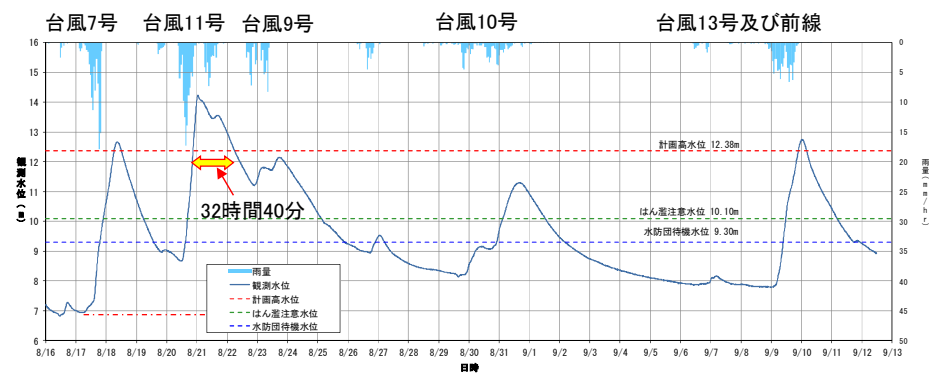
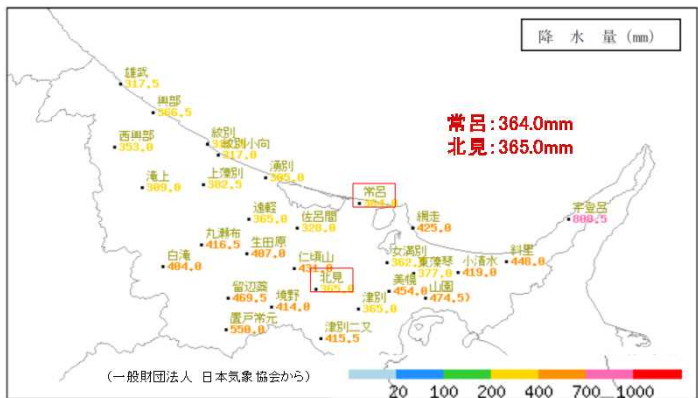
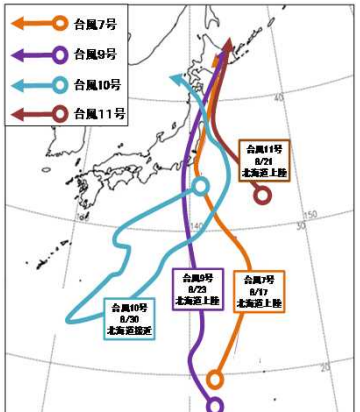
災害発生危険度

- 平成28年には、8月17日から23日の1週間に3つの台風が北海道に上陸し、常呂川流域では、特に山間部において総降雨量が年間の約5割にあたる400mmを超過し、北見地点で計画高水流量を超える既往最大流量を観測し、太茶苗水位観測所・上川沿水位観測所で計画高水位を超過しました。
- これらの雨により、柴山沢川(大臣管理区間)及び東亜川(北海道管理区間)において、堤防の決壊が発生しました。また、越水による堤防のり崩れに加え、隈川、ポン隈川の合流点付近で多数の噴砂や、低水護岸の流出の被害が発生しました。
- 外水や内水氾濫により、北見市で家屋被害が発生したほか、国道、道道の通行止め、市道の冠水、端野及び留辺蘂では水道管の破損による断水、基盤流出によるJR石北本線の運休等、ライフライン被害が多く発生しました。特に、たまねぎの生産量が全国一位を誇る北見市においては農地が浸水し、たまねぎを中心とする農業被害は甚大なものとなりました。

平成28年8月の台風の経路

平成28年8月の雨量観測所の記録

太茶苗観測所観測水位変動時系列
(平成28年8月16日から9月13日)



平成28年8月洪水被害状況